

色材協会

阿部正彦氏が会長に



色材協会(桑野浩一会長)は、2月25日午後2時半から東京都渋谷区恵比寿の塗料会館で平成20年度通常総会を開催した。

はじめに桑野会長は「80周年記念会議など様々な事業を滞りなく終えることができた。ナノテクなどによる材料革命の時代が来るだろう。その際に当会の役割・義務が明るものであると確信して「色」を大切にすることを述べた。

議案事項は、平成19年度役員一部補充選任の

ムラの起こりにくい高微粒子タイプ

RS05型 MPスプレーガン
メタリック・パール用
PIA ピーアイエー株式会社

件、同事業報告、決算報告、監査結果報告、平成20年度事業計画、同収支予算など承認された。平成20年度は、会員増加に努め、魅力ある会誌づくりのほか、色材研究発表会を9月11日から2日間、名古屋市工業研究所で開催する。財政面の改革に取り組み、ホームページの充実を図る。

また、顔料・塗料・印刷インキ・インクジェット物の各部会が、また顔料物性・木材塗装・測色・印刷インキ技術の各研究会がそれぞれ活動を行う。さらに、日本技術者教育認定機構や技術者の継続教育の活動に参加する。

役員改選があり、新会長に阿部正彦(東京理科大学大学院理工学研究科工業化学専攻教授)、副会長本部に服部俊雄(大日精化工業顔料事業本部企画室室長)、同関東支部長・藤合俊英(関西ペイント技術顧問)、同関西支部長・松田充弘(大日本塗料顧問)、同中部支部長・松居正樹(岐阜大学工学部機能材料工

学科教授)、また監事に村田耕一郎(元関西ペイント)、伊藤征司郎(近畿大学)、保坂洋(技術経営ラボ)の各氏が選ばれた。なお、編集委員長には山辺秀俊氏(住友金属山技術本部市川研究所統括研究員参与)が就任した。

あいさつに立った阿部新会長は「写真」は「当学会も会員数が減っている。このままでは85周年、100周年を迎えていく中で一千人を切ってしまうかもしれない。学生会員も極めて少ないのが現状である。これを増やすことが先決だと考え



株式会社 扇商會

OHGI SHOKAI Co., Ltd
本社：大阪市北区西天満3-13-7 TEL(06)6364-5051

関西ペイント 製品

TOP静電塗機・エアレス塗機
塗装設備・公害防止設備設計施工

ている。集め方、会費、発表の場、ボスター賞などを考えてみたい。当学会を広くアピールしていく」と述べた。

総会終了後、特別講演会が開かれ、色彩の応用展開を広く中国で行っている北京西蔓色彩文化発展有限公司の千西蔓理事長が「中国の最新色彩事

情」をテーマに講演を行った。

その後、懇親会が開かれた。来賓のあいさつを経済産業省製造産業局化学課機能性化学品室室長の安居徹氏が「新会長のもと、技術・環境対応、千西蔓氏の講演を受けて、センスを発信してほしい」と行った。